

第2章 温室効果ガス排出状況

第2章 温室効果ガス排出状況

1. 現況の温室効果ガス排出量

(1) 温室効果ガス排出量の推移

温室効果ガス排出量が推計できる2022（令和4）年度（以下「現況年度」という。）の温室効果ガス排出量は、338.9千t-CO₂であり、2013（平成25）年度（以下「基準年度」という。）の657.2千t-CO₂と比べて48.4%減少しています。

（詳細は、資料編1 温室効果ガスの排出状況参照）

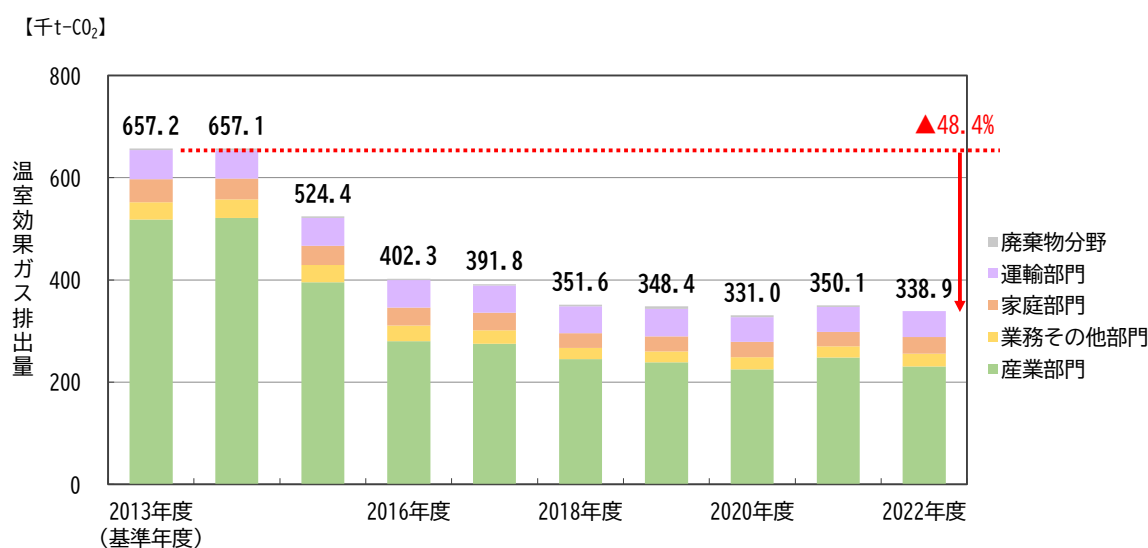


図 2-1 温室効果ガス排出量の推移

表 2-1 部門・分野別温室効果ガス排出量の推移

	温室効果ガス排出量【千t-CO ₂ 】										
	2013年度 (基準年度)	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	基準年度比
エネルギー起源CO ₂	654.1	653.4	521.6	399.8	389.2	348.4	343.2	326.9	347.2	338.9	▲48.2%
産業部門	517.8	520.8	395.5	280.3	275.0	245.1	238.7	225.2	248.0	230.4	▲55.5%
製造業	516.2	519.4	394.1	279.0	273.8	244.0	237.7	224.3	247.2	229.6	▲55.5%
建設業・鉱業	1.6	1.4	1.3	1.3	1.2	1.1	1.0	0.8	0.8	0.8	▲49.6%
業務その他部門	34.2	36.4	33.8	30.5	26.6	22.2	21.5	23.7	22.4	25.2	▲26.3%
家庭部門	45.4	41.0	37.6	34.7	34.2	28.4	29.5	29.8	27.6	32.5	▲28.4%
運輸部門	56.7	55.2	54.8	54.2	53.4	52.8	53.5	48.3	49.2	50.8	▲10.5%
自動車	40.8	39.6	39.5	39.4	39.0	38.7	38.3	34.9	34.9	36.5	▲10.4%
鉄道	2.7	2.6	2.5	2.5	2.4	2.2	2.1	2.0	2.0	2.0	▲23.9%
船舶	13.3	13.1	12.8	12.4	12.0	11.9	13.1	11.3	12.3	12.2	▲7.8%
非エネルギー起源CO ₂	3.1	3.7	2.8	2.5	2.6	3.2	5.2	4.1	2.9	0.0	▲100.0%
廃棄物分野	3.1	3.7	2.8	2.5	2.6	3.2	5.2	4.1	2.9	0.0	▲100.0%
合計	657.2	657.1	524.4	402.3	391.8	351.6	348.4	331.0	350.1	338.9	▲48.4%

※2022年度の廃棄物分野の排出量は、東播磨海広域クリーンセンターでの処理となったため、0となっています。

※四捨五入の関係で、合計値・割合は整合しない場合があります。

(2) 部門・分野別温室効果ガス排出量の割合

現況年度の部門・分野別温室効果ガス排出量の割合は、産業部門が68.0%、運輸部門が15.0%、家庭部門が9.6%、業務その他部門が7.4%となっています。

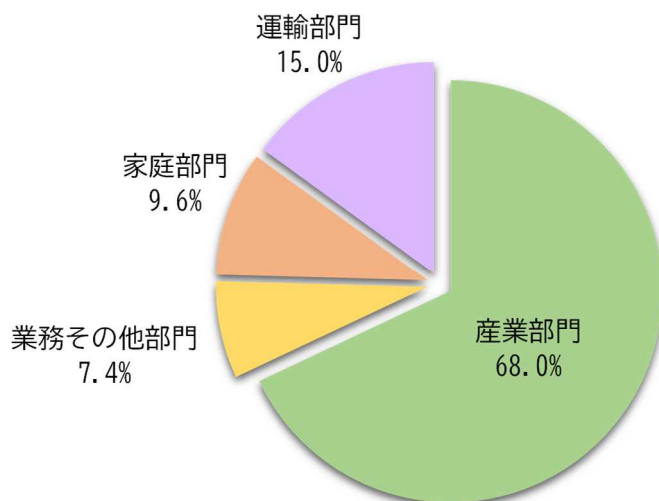


図 2-2 部門・分野別温室効果ガス排出量の割合（現況年度）

(3) 森林吸収量

本町においては、農林業センサスの森林計画における森林面積がないことから、森林吸収量はゼロとしています。

2. 温室効果ガス排出量の将来推計

(1) 現状すう勢シナリオによる温室効果ガス排出量

今現在のまま、地球温暖化対策が追加的に何も行われないと仮定した場合の将来的な温室効果ガス排出量（現状すう勢シナリオ）は、2030（令和12）年度は340.2千t-CO₂となり、基準年度比▲48.2%となります。

2035（令和17）年度は340.8千t-CO₂（基準年度比▲48.2%）、2040（令和22）年度は341.3千t-CO₂（基準年度比▲48.1%）、2050（令和32）年度は342.1千t-CO₂（基準年度比▲47.9%）となり、現況年度以降、徐々に増加していく見込みです。

（詳細は、資料編1 温室効果ガスの排出状況参照）

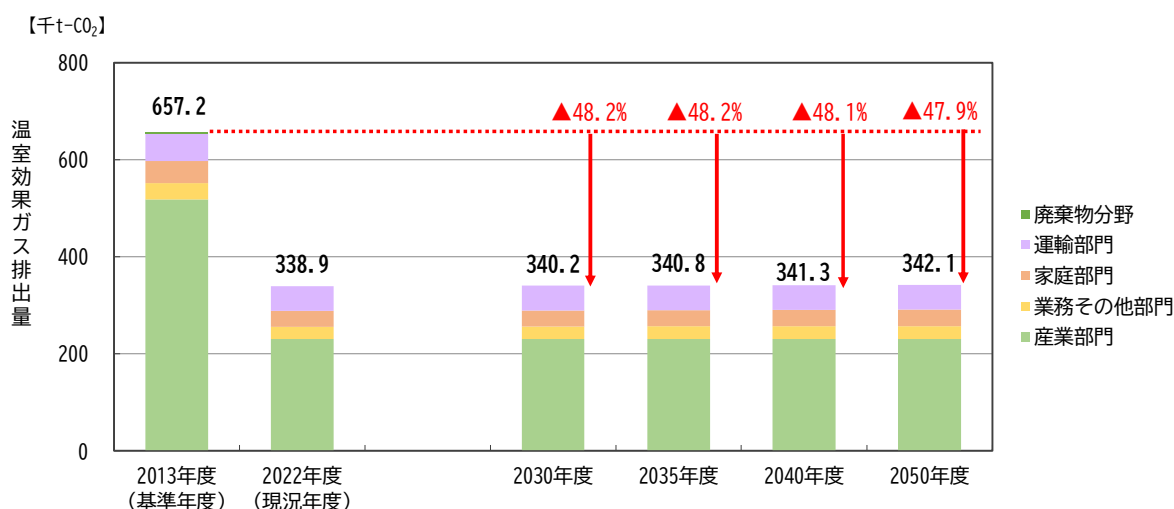


図 2-3 温室効果ガス排出量の将来推計（現状すう勢シナリオ）

表 2-2 部門・分野別温室効果ガス排出量の将来推計（現状すう勢シナリオ）

	温室効果ガス排出量【千t-CO ₂ 】										
	2013年度 (基準年度)	2022年度 (現況年度)	基準年度比 削減率	2030年度	基準年度比 削減率	2035年度	基準年度比 削減率	2040年度	基準年度比 削減率	2050年度	基準年度比 削減率
エネルギー起源CO ₂	654.1	338.9	▲48.2%	340.2	▲48.0%	340.8	▲47.9%	341.3	▲47.8%	342.1	▲47.7%
産業部門	517.8	230.4	▲55.5%	230.3	▲55.5%	230.3	▲55.5%	230.3	▲55.5%	230.2	▲55.5%
製造業	516.2	229.6	▲55.5%	229.6	▲55.5%	229.6	▲55.5%	229.6	▲55.5%	229.6	▲55.5%
建設業・鉱業	1.6	0.8	▲49.6%	0.7	▲56.4%	0.7	▲59.0%	0.6	▲61.0%	0.6	▲63.8%
業務その他部門	34.2	25.2	▲26.3%	25.9	▲24.4%	26.1	▲23.6%	26.3	▲23.0%	26.7	▲22.0%
家庭部門	45.4	32.5	▲28.4%	33.1	▲27.0%	33.4	▲26.4%	33.6	▲25.9%	34.0	▲25.2%
運輸部門	56.7	50.8	▲10.5%	50.9	▲10.3%	50.9	▲10.2%	51.0	▲10.0%	51.2	▲9.7%
自動車	40.8	36.5	▲10.4%	37.1	▲9.1%	37.3	▲8.5%	37.5	▲8.0%	37.8	▲7.3%
鉄道	2.7	2.0	▲23.9%	1.9	▲28.0%	1.9	▲29.1%	1.9	▲30.2%	1.8	▲32.1%
船舶	13.3	12.2	▲7.8%	11.8	▲10.7%	11.7	▲11.7%	11.7	▲12.1%	11.6	▲12.5%
非エネルギー起源CO ₂	3.1	0.0	▲100.0%	0.0	▲100.0%	0.0	▲100.0%	0.0	▲100.0%	0.0	▲100.0%
廃棄物分野	3.1	0.0	▲100.0%	0.0	▲100.0%	0.0	▲100.0%	0.0	▲100.0%	0.0	▲100.0%
小計	657.2	338.9	▲48.4%	340.2	▲48.2%	340.8	▲48.2%	341.3	▲48.1%	342.1	▲47.9%
森林吸収量	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-
合計	657.2	338.9	▲48.4%	340.2	▲48.2%	340.8	▲48.2%	341.3	▲48.1%	342.1	▲47.9%

※四捨五入の関係で、合計値・割合は整合しない場合があります。

(2) 脱炭素シナリオによる温室効果ガス排出量

今後、省エネ対策を実施した場合の将来的な温室効果ガス排出量(脱炭素シナリオ)は、2030(令和12)年度は288.5千t-CO₂となり、基準年度比▲56.1%となります。

2035(令和17)年度は259.0千t-CO₂(基準年度比▲60.6%)、2040(令和22)年度は231.6千t-CO₂(基準年度比▲64.8%)、2050(令和32)年度は183.5千t-CO₂(基準年度比▲72.1%)となる見込みです。

(詳細は、資料編1 温室効果ガスの排出状況参照)

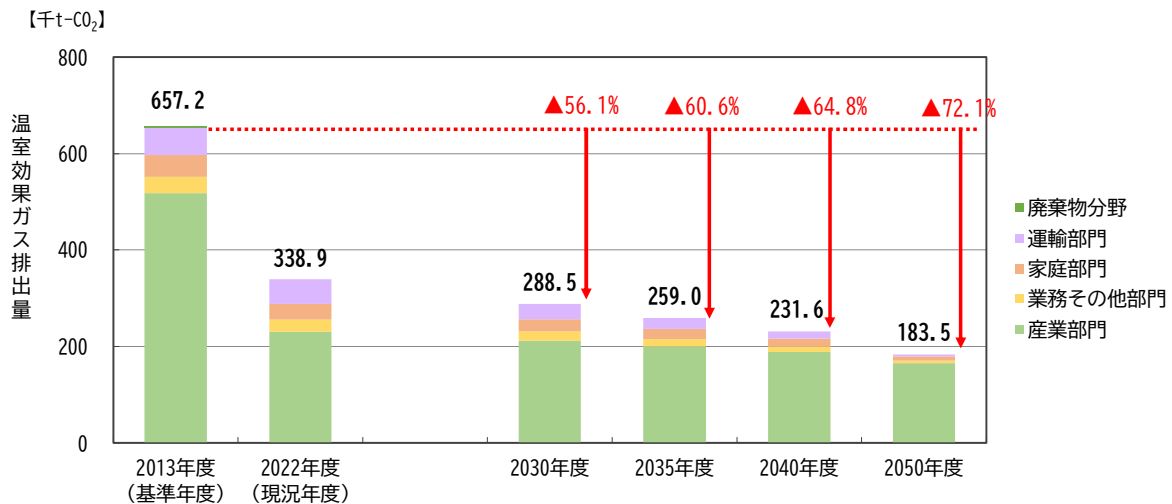


図 2-4 温室効果ガス排出量の将来推計 (脱炭素シナリオ)

表 2-3 部門・分野別温室効果ガス排出量の将来推計 (脱炭素シナリオ)

	温室効果ガス排出量【千t-CO ₂ 】										
	2013年度 (基準年度)	2022年度 (現況年度)	基準年度比 削減率	2030年度	基準年度比 削減率	2035年度	基準年度比 削減率	2040年度	基準年度比 削減率	2050年度	基準年度比 削減率
エネルギー起源CO ₂	654.1	338.9	▲48.2%	288.5	▲55.9%	259.0	▲60.4%	231.6	▲64.6%	183.5	▲71.9%
産業部門	517.8	230.4	▲55.5%	211.8	▲59.1%	200.2	▲61.3%	188.6	▲63.6%	165.5	▲68.0%
製造業	516.2	229.6	▲55.5%	211.3	▲59.1%	199.8	▲61.3%	188.3	▲63.5%	165.3	▲68.0%
建設業・鉱業	1.6	0.8	▲49.6%	0.5	▲66.5%	0.4	▲74.7%	0.3	▲81.3%	0.1	▲91.3%
業務その他部門	34.2	25.2	▲26.3%	19.3	▲43.4%	15.2	▲55.6%	11.3	▲66.9%	4.8	▲85.8%
家庭部門	45.4	32.5	▲28.4%	25.4	▲44.0%	21.0	▲53.6%	16.8	▲63.0%	9.1	▲80.0%
運輸部門	56.7	50.8	▲10.5%	32.0	▲43.6%	22.6	▲60.1%	14.8	▲73.8%	4.1	▲92.7%
自動車	40.8	36.5	▲10.4%	21.4	▲47.5%	14.2	▲65.2%	8.3	▲79.5%	0.9	▲97.8%
鉄道	2.7	2.0	▲23.9%	1.5	▲44.6%	1.2	▲56.2%	0.9	▲66.5%	0.4	▲83.6%
船舶	13.3	12.2	▲7.8%	9.1	▲31.3%	7.2	▲45.4%	5.6	▲57.8%	2.8	▲78.9%
非エネルギー起源CO ₂	3.1	0.0	▲100.0%	0.0	▲100.0%	0.0	▲100.0%	0.0	▲100.0%	0.0	▲100.0%
廃棄物分野	3.1	0.0	▲100.0%	0.0	▲100.0%	0.0	▲100.0%	0.0	▲100.0%	0.0	▲100.0%
小計	657.2	338.9	▲48.4%	288.5	▲56.1%	259.0	▲60.6%	231.6	▲64.8%	183.5	▲72.1%
森林吸収量	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-
合計	657.2	338.9	▲48.4%	288.5	▲56.1%	259.0	▲60.6%	231.6	▲64.8%	183.5	▲72.1%

※四捨五入の関係で、合計値・割合は整合しない場合があります。